

福祉にいがた

Fukushi Niigata

CONTENTS

巻頭特集

市町村社協会長視察in新発田（2・3面）

10月号
2016
第770号

- 竹内・県社協会長がのぞみの家福祉会(新発田市)訪問
- 11月13日、新潟市で福祉・介護・健康フェア
- 連載「社福法人の公益活動」その6



村山 陽「白毫寺 生駒山をのぞむ一奈良の旅スケッチより」（一水会委員・上越市在住）

巻頭
特集

新発田市で 市町村社協会長視察研修

～北窓副知事と青山敬和学園大教授を招き～



歓迎のあいさつをする
荻野優志・新発田市協会長



開催意義を述べる
竹内希六・県協会長

初日は、新発田市ボランティアセンター内の新発田市社協研修室で同社協の取り組みと今後の方向性について説明を受けました。まず、竹内会長が「各社協の

地域みまもり隊員・生活応援団… 住民と一体となった活動を学ぶ

9月15、16の両日、新発田市で「市町村社会福祉協議会会長視察研修」が行われました。昨年に続き2回目の開催です。新潟県社協・竹内希六会長をはじめ、24社協会長らが新発田市社協の意欲的な取り組みを学び、意見を交わしました。初日の研修には北窓隆子副知事も参加、住民主体・参加型の地域福祉推進活動に感心して聞き入っていました。



意欲的な取り組みに北窓・
副知事も耳を傾ける

悩みや現状を話し合う場にしてほしい。併せて今後の方向性を勉強したい」とあいさつ。新発田市の二階堂馨市長が「福祉を支える根っこと言える皆さんが手をしっかりと握って美しい（福祉の）花を咲かせてほしい」と歓迎の言葉を述べ、地元・新発田市社協の荻野優志会長が「県内社協のトップの



新発田市社協職員による熱心な取り組み報告が続いた

絆が強くなっているのは大きな力です。実り多い2日間となるよう期待したい」とあいさつしました。続いて、新発田市社協の藤間啓子事務局長らが取り

組みを紹介。1978（昭和53）年から始めた「在宅老人給食サービス」は県内で初の試みで、調理から配達まで一貫してボランティアが行う全国的にも例がないもので視察が相次いだと言ふことです。当時の映像を使って紹介されました。社協の歴史の振り返りに続いて、昨年から始めた、誰でもが参加できる「ながら活動」を基本とした地域ぐるみで支えあう「地域みまもり隊員」や住民相互の助け合いを基本とした会員



参加者は熱心にメモを取りながら新発田市社協の報告を聞いていた

制の有料在宅福祉サービスである「生活応援団」などの先進的な取り組みについての説明がありました。買い物代行など「応援団」の昨年の利用は880件ほどだったそうです。

各地での懇談会を重ねるなど、地域ニーズをくみ上げながらのきめ細かな活動報告に、参加者は大きくうなずいていました。

社協の新たな課題は 若者問題への取り組み

研修2日目は、月岡温泉・ホテル摩周の会議室で、新発田市社協副会長でもある敬和学園大学人文学部・青山良子教授の「市町村社会福祉協議会と地域福祉事業」と題した問題提起から始まりました。青山教授は「社協の役割は、見えにくいニーズを地域全体のもの



青山・敬和学園大教授が話題提供として社協の役割などについて語った

にしていくことである」と強調。従前は高齢者問題が、わが身のこととして取り組みやすく、地域ニーズとして実現させていくことに取り組みできましたが、社協が取り組む新しい課題は若者問題だと言います。ニ



2日目の会長研修

トや引きこもり、貧困などです。より深い共感、共に生きる思想を持って踏み込んださまざまな事業を行う必要があると訴えました。参加の社協会長らは、新発田市社協の取り組み全体を高く評価する声が相次いだほか、「生活応援団」や「中間支援組織」、また見えにくいニーズによる自主事業の財政的裏付けをどうするのか、といった論議も行われました。



落谷虹児記念館では、参加者は挿絵画家として一世を風靡した画家の業績に見入っていた

新発田の 拠点施設視察

初日の研修前には、会場のボランティアセンターを見学した後、防災機能を持った公園「アイネスしばた」や建設中の新発田市新庁舎「ヨリネスしばた」、新発田駅前の複合施設「イクネスしばた」を車窓から視察したほか、落谷虹児記念館と陸上自衛隊新発田駐



白壁兵舎広報史料館では、新発田城関連資料をはじめ日清戦争から第二次大戦、そして近年の災害派遣の様子が展示されている

屯地内の「白壁兵舎広報史料館」を見学。落谷記念館では、学芸員の説明を聞きながら、代表作の「花嫁人形」やパリのサロン・ドートンヌに初入選した作品などを鑑賞しました。



複合施設「イクネスしばた」



宿泊した月岡温泉街

新たな発想の運営に感嘆 社協には相談窓口の役割期待

新潟県社会福祉協議会の竹内希六会長が9月1日、新発田市の社会福祉法人「のぞみの家福祉会」施設を訪れ、齋藤敏郎理事長と運営への考えや実践などについて、会食も交えて話し合いました。竹内会長は、企業経営的発想による運営と、それに応えて職員が具



齋藤敏郎理事長



竹内希六会長

体的成果を積み重ねていることに「従来にはない考えに挑戦することはすばらしい」と賞賛したのに対し、齋藤理事長からは「社協はさまざまな情報発信基地となり、相談窓口になってほしい」との要望が出されました。

最初に、主に重度の知的障がい者の生活介護と入所支援を行っている「緑風園」を訪問しました。県営からPFI方式により民営化した県内第1号の施設です。運営方針として①尊厳と権利を守る②利用者主体③地域とともに歩む―を掲げて福祉サービスを提供。男女別の5つのユニットに分け、より家庭的な生活を送れるように工夫しています。最近では、発達障がいや自閉症スペクトラムなど重

度障がい者の入所が多くなっているということです。自身も自営業である齋藤理事長は、経済界や異業種からも理事と評議員を選任し、多様な見方を活用した運営に力を注いできました。当面の目標は「学童から高齢者までの一貫したサービス」ということです。職員のやる気を引き出すと、先進的な取り組みを行っている所に積極的に派遣、一方の職員も視察結果を驚きや報告だけで終わりとせず、具体的取り組みに結び付けてきました。7色に変化する外国製のバブル

チューブが部屋の真ん中に立つスヌーズレンルームの改装や、体育館内に利用者一人ひとりの「自分の居場所」を確保できる個室風仕切りと創作する場を職員が手作りで設けています。

齋藤理事長は「職員がやりがいを持たないと、利用者の個別支援もできない」と職員の育成に重きを置いてきたとしています。竹内会長も「個性に応じた対応をしていると感じた」と感心していました。

続いて地域生活総合支援センター「さんさん館i」を訪れました。新発田に足りなかったサービスの実践として発達障がい者らの就労移行支援に取り組んでいます。また、放課後等デイサービスや短期入所事業を行っています。

昼食は、今春から就労支援の一環として施設内に開店したフレンチレストランで取り、社協への期待などについても意見交換しました。



職員手作りの「個室」や創作スペース



いやしの空間となるスヌーズレンルーム



利用者は就労移行支援プログラムに取り組んでいた

ず〜む 2016 Vol.14

「物語」に思いを寄せて

祖母はたくさんさんの写真を持っていて、時折私に見せてくれることがありますが。切りそろった前髪に真っ赤なほっぺのかわいい子…、趣ある写真に

は、幼かった日の祖母の姿が。しばらく眺めていけば、今度はすっかりきれいなお姉さんになっていて、勤め先での一枚、きょうだいとの一枚、祖父との結婚が決まった時の一枚など、初々しくもきらきらとした姿が写っています。

その後には、見覚えのある人物が出てきました。私の母です。家庭を持ってからの祖母の雰囲気はどこか凛としていて、多くの苦勞がありながらも自分の子を守り育てる、まさに「親の

顔」そのもの。そっと寄り添う家族写真が印象的です。また、子育てが一段落した頃には、祖母の母…、私の曾祖母のためにきょうだいと共によく京都に行ったそう、旅行先での一枚からは親孝行の思いが伝わってきます。

そして、どうしても感慨深く眺めてしまうのが、生後間もない私を抱きかかえてほほ笑みをたたえる祖母の写真です。私が祖母の「孫」になり、祖母が私の「おばあちゃん」になった時間を

切り取った、やさしい一枚。こんなにもたくさんさんの写真が、祖母が過ごしてきた時間を確かに証明しているのに、私がちゃんと知っているのは、私と祖母が一緒にいた時間の分だけ。そこで改めて気づかされるのです。今見える姿の裏側に、「経験」という言葉では語れない、祖母のストーリーがある。祖母に限らず、今自分が関わりをもって接している全ての相手に言えることだと。そして、自分はそのストーリーを知って

いる気になって、実は何も知らないのだと。順風満帆に見えて、実は多くの苦勞を重ねてきた（ている）のかもしれない。不遇に見えて、実は何かに喜びや期待、生きがいを感じながら暮らしてきた（ている）のかもしれない。今ある姿がその人の全てではないこと、そして、その人が持つ大切な時間の中に、自分が存在しているということの意味と重みを、今一度考える必要がありそうです。（実央）



落ち着いた内装の店内は 38 席のフロアと個室があり、ゆったりと食事を楽しむことができる

フレンチレストラン萌芽

バラのある庭見ながら本格料理

福祉施設「さんさん館」内に、4月下旬開店したフレンチレストラン「萌芽」は、地元食材を中心にランチとディナーのコース料理を提供しています。「予約も結構入っている」と順調な滑り出しで、障がいのある7人が、注文を受けた料理を運ぶ接客や食器洗いなどの仕事にやりがいを見いだしています。ナイフやフォークのセッティングも

堂に入り、前菜からスープ、メインの肉や魚料理を出す手つきは慣れたものです。運営する「のぞみの家福祉会」では当初、就労支援の場として軽食店を考えたが、差別化が必要と判断、「思い切って」現在の形態としたそうです。料理とスタッフ、ロケーションを重視、ベテランシェフ2人と接客のプロを採用、女性層を意識しバラを中心と

した庭造りにも腐心しています。来年には「アンネのバラ」も植える計画です。参考にしたのは、京都府の舞鶴湾を一望する本格的フレンチレストラン。多くの障がい者が働く人気店です。

萌芽の営業時間は午前11時30分から午後2時と、午後5時30分から8時30分。月曜日は定休。ディナーは予約制で木・金・土曜日のみ営業です。電話は、0254(20) 8281。

民間福祉施設の火災や災害に備え備品整備に助成 平成28年度社会福祉基金運用益活用助成事業

新潟県社会福祉協議会では「新潟県社会福祉基金（県社協設置）」の運用益を活用し、県社協会員の認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設ならびに共同生活援助（グループホーム）に、火災や災害に備える発電機、防災カーテン、ヘルメットなどの防火・防災備品整備へ15施設約245万円を助成しました。

No.	施設・事業所名	備品名	助成額
1	グループホームシンパシー	発電機	200,000
2	グループホームしあわせ広場	防災防火カーテン	170,000
3	グループホーム関屋おもと	発電機	100,000
4	まいらいふ吉田	ヘルメット	40,000
5	グループホームしおかぜ	防災カーテン	190,000
6	ふれあいの郷ひめさゆり	発電機	200,000
7	ささえ愛はよし	発電機、刈り払い機、ストーブかまど、パーソナルテント	180,000
8	小規模多機能ホーム島	発電機・灯光器一式	200,000
9	さくらホームさくらの家	AED	200,000
10	陽だまり	発電機	200,000
11	グループホームながば	防災備蓄倉庫	200,000
12	グループホームいらかの丘	車輪付軽量折りたたみ担架及び収納バッグ	200,000
13	グループホーム黒川	防災頭巾・防災カーテン	140,000
14	樫の木	消火器	30,000
15	さんわの家	折り畳み式リヤカー、発電機	200,000

新潟県福祉人材センター 長岡支所が11月より移転

新潟県福祉人材センター
長岡支所が、11月1日より
長岡市表町2丁目の再開発
ビル「ながおか町口御門」
内に移転し業務を開始しま
す。

支所を開設していた長岡
市社会福祉センターの同所
への移転に伴うもので、支
所は本年4月から同セン
ター内で業務を行ってきま
した。

長岡駅にも近く、一層気
軽に利用できるようになり
ます。福祉の仕事に関心や
興味のある方、資格の取得
を考えている方の相談に応
じ、福祉職場への就職あっ
せんも行います。多くの
方々の利用を期待していま
す。

●所在地

長岡市表町2丁
目2番地21「ながおか
町口御門」内 長岡市社
会福祉センター2階

●相談日時

毎週月～木曜

日（祝日、年末・年始を
除く）10時～15時

●予約制 事前に予約が必
要です。希望する相談日
の前日15時までに新潟県
福祉人材センターに電話
で予約してください（月
曜日に相談を希望の方は
前週金曜日までにお願い
します）。

●予約・問い合わせ

新潟
県社会福祉協議会内「新
潟県福祉人材センター」へ。
☎025-281-5523

福祉のしごとミニ面談会 in 長岡を開催

福祉職場への就職面談会
を開催します。福祉の仕
事に関心がある方、福祉職
場への就職を考えている方
の来場をお待ちしています。

◇日時 11月3日（木・祝）
13時～16時

◇会場

長岡市社会福祉セ
ンター3階多目的ホール
（長岡市表町2丁目2番
地21「ながおか町口御
門」内）

寄 付 ありがとうございました（敬称略）

平成28年8月10日 匿名……………100,000円
平成28年9月12日 新潟県税理士協同組合……………100,000円

熊本地震の復興支援のため、全国社会福祉協議会の要請を受け6月22日～7月21日までの間、関東ブロック内県社協及び政令指定都市社協職員延べ59人の職員が西原村災害ボランティアセンター（VC）に派遣され、その運営支援に当たり

ました。

発災から3カ月が経過し、ようやく応急仮設住宅への入居が始まり、VCの閉鎖を見据えながら、新たな「生活復興支援センター」への業務の橋渡しという重要な時期での派遣でした。派遣された、上越市社

会福祉協議会・地域福祉課地域福祉係長の佐藤貴規さんと新潟市西区社会福祉協議会・ボランティアコーディネーターの小林幸さんの2人に、支援活動を通して感じたことについて寄稿いただきますので紹介いたします。

熊本県西原村災害VC運営支援活動報告



上越市社協
佐藤 貴規さん

大切な寄り添う心と

冷静な目

6月26日、熊本県西原村災害ボランティアセンターでの活動を関東ブロックB派遣職員と共に合計8人でスタートしました。各人が、災害ボランティアセンターの運営スタッフとして配属され、私は受付班での活動となりました。

派遣期間中は雨天のため、災害ボランティアセンター自体が閉鎖され、ボランティア受付活動は数日間のみではありましたが、地元ボランティアのセクシ



ンリーダーの方と①活動のマニュアル化②受付班の体



新潟市西区社協
小林 幸さん

担うべきは

「つながり支援」

私は「生活課題発掘班」に配置され、戸別訪問や地域課題整理などを行いました。

関東Bブロック初めての女性スタッフとして、地域の方が安心して訪問を受け入

制の再構築—の取り組みを行いました。

災害ボランティアセンターの閉所を見据えての時期ではありましたが、地元ボランティアの方と、受付班の「現状と今後」について真剣に検討できたことは、生活復興支援センターへの移行の過程においても、重要なポイントであったと感じています。

私自身、今回の派遣を通して「派遣職員の役割とは

れてくれるように心がけ、聞き取りを行いました。

訪問時に作成した個別票から、継続的な支援が必要なニーズを地図上に落とし込む作業も行いました。山間部では、道路閉鎖により移動販売が不可能となり、買い物支援が必要とされるなど、地形とニーズが関連していることに気付きました。また、自治会が未組織の地域では、このたびの災害を経て、地域のつながりの重要性を感じ、自治会を組織したいなどの声

何か」を改めて考えました。1週間という短期間の中で「できること」は限られます。しかし、1週間の派遣だからこそ「見えるもの」も一方にあると考えます。派遣される時期や職務によって、支援の内容は多岐に渡るとはいますが、どのような状況にあっても、「被災地・被災者へ寄り添う心」と「客観的な冷静な目」を持って活動することが重要であると感じました。

もありました。

地形や地区に限らず、共通して挙げられたニーズは「サロンに行きたい」でした。西原村では以前からサロン活動が盛んで、まだ仮設住宅への引っ越しが終わらない中、いくつかのサロンが再開され始めていました。参加者の「みなさんに会えてうれしい」の言葉に人が集う場所は心のより所であり、社協が担うべきは「つながり支援」であると実感しました。



介護・医療・健康に関する最新機器・サービスなどを紹介

毎年おなじみの、著名人や関係団体を招いての講演やトークショーをはじめ、介護、医療、健康に関する最新の機器や商品、サービスなどを紹介する「情報展示コーナー」や、おもちゃ

「安心できる暮らしを提案し、明日のためにできること、地域包括ケアシステム」をテーマに、住み慣れた地域で安心・安全に、そして健康に暮らしていけるヒントを紹介します。

平成24年度から始まった、新潟県社会福祉協議会・新潟市社会福祉協議会・新潟日報社主催の「福祉・介護・健康フェア」が今年で5年目を迎えます。今年は、「安心して暮らす」を提案し、明日のためにできること、地域包括ケアシステム」をテーマに、住み慣れた地域で安心・安全に、そして健康に暮らしていけるヒントを紹介します。

福祉・介護・健康フェア2016

家族みんなで、知ろう！学ぼう！

平成 28 年
11 月 13 日 (日)
9:30 ~ 16:30
朱鷺メッセ
ウェーブマーケットほか
(新潟市中央区万代島)



一日中楽しめるイベント会場

障がいのある方が心を込めて作った商品を販売する「パレット周年祭」も開催されます。

病院や木工教室とバルーンアートなど親子で楽しめる「子ども広場」、全ての世代で気軽に楽しめる「ニュースポーツの体験コーナー」、そして福祉サービスの利用や福祉職に就職するためのポイントを紹介する「福祉の相談コーナー」などを用意しました。

今年は長岡で初開催

好評の福祉・介護・健康フェアを今年度は初めて長岡市で開催をします！「健康で安心して暮らしていけるヒント」を皆様にお届けします。

日時：平成28年11月23日

(水・祝) 9:30 ~ 16:30

場所：ハイブ長岡 大展示ホール(長岡市千秋)



介護や健康などがテーマの講演会

秋旅・冬旅発売中♪

まだ間に合う秋の旅★

紅葉の時期、人気の地区・お宿は混み合います！

■ JTB は旅行だけではございません！

贈り物に JTB のギフト券はいかがですか！
【旅行券・ギフト券・カタログギフト商品】を各種取り揃えております。

年末年始の旅発売中！

おすすめのお宿、海外旅行など早い者勝ちです！

~~~~皆様の旅のこと・贈り物のこと・何でもお気軽にご相談ください~~~~

(株) JTB 関東 法人営業新潟支店/新潟市中央区東万代町 1-30 3 階

電話：025-255-5101 FAX:025-248-7687



## 福祉の店 味わい散歩

菓子工房 やわらぎ

社会福祉法人十日町福祉会

ワークセンターなごみ内

(十日町市八箇甲354-7)

◇ 9時～17時

◇ 土・日・祝日休み

◇ ☎ 025 (750) 1010



### おからの味生かす素朴な焼きかりんとう

人気の「おからの焼きかりんとう」は、おから本来の味が楽しめるプレーンをはじめ、女性に人気のココア味、甘酒味、みそ味など7種類を作っている。

原料の生おからは、地元の農業法人が魚沼産大豆で作る豆腐の副産物を譲り受

けている。棒状にした生地をオーブンで焼く。油で揚げないヘルシーさが特長。「硬めだが、くせになる味」という。平成20年から製造を始め、十日町市と津南町で開催される「大地の芸術祭」に小箱セットを出品したところ評判となった。



パイ生地を使った「野菜いっぱい」は、平成24年2月に行われた「新潟県障害者授産製品おやつコンテスト」でグ

ランプリに輝いた。「あんこ」とパイの組み合わせが絶妙」と評された。今はカボチャとサツマイモ、そして梅が丸ごと入った3種を販売している。

お菓子作りのコンセプトは、地産地消、安心安全、素朴さの3つ。日々試行錯誤を続け、そばチョコクッキーや豆菓子、まんじゅうなど、製品は45種に増えている。東京五輪の聖火台にと働きかけている、国宝・火焔形土器を模した容器のクッキー「縄文風菓」（魚沼産雑穀入り）も注目品。

十日町市の道の駅「クロス10」や新潟ユニゾンプラザ内「パレット」でも購入できる。

## 福祉NEWS

2016年8月11日～9月10日

### ■児童相談所に弁護士配置義務化 子供の処遇判断に期待

10月から児童相談所への弁護士の配置が義務付けられる。法律面の専門知識を生かし、書類を作成したり、子供の処遇を判断したりする役割が期待されているが、具体的な配置計画などはこれから。児童福祉に詳しい弁護士の確保も課題。

### ■セブンと高齢者見守り 県が協定

新潟県は8月19日、セブンイレブン・ジャパンと高齢者支援に関する協定を結んだ。セブンイレブンの店頭や宅配サービスを通じて独居高齢者らの見守りを実施することが協定の柱だ。県内で約400ある店舗の従業員が宅配サービスで自宅を訪問した際、呼び鈴に反応がないなどの異変があれば、地域包括支援センターなどに知らせる。店舗周辺で認

知症の疑いがある高齢者に気づいた場合も連絡する。高齢者を従業員として積極的に採用するなど雇用面でも高齢者を支援する方針。

### ■障害者の芸術活動支援 「センター」開設

障害者の芸術活動を支援しようと、上越市の社会福祉法人「みんなできる」が今月、展覧会の開催や作品の発掘などを支援する「県オール・ブリュット・サポートセンター」を開設した。こうした組織は県内で初めて。同法人の大島誠理事長は「障害者の芸術に触れる機会を持ってもらいたい。将来的に常設美術館をつくりたい」と話している。

※「オール・ブリュット」はフランス語。専門的な美術教育を受けず、既存の概念にとらわれない芸術表現のことで、障害者による芸術作品も含まれる。

### ■有償ボランティア組織設立へ 新潟の看護師ら 県内初

新潟青陵大非常勤実習助手で看護師の犬飼美智代さんが、県内看護師らとともに有償ボランティア「CANUS（キャンナス）新潟」を立ち上げる。自宅療養する高齢者や障害者の世話を肩代わりして家族の負担軽減を図るもので、県内ではこれまでに看護師2人、鍼灸師や保育士ら計5人が賛同している。活動内容は、重い障害のある子やお年寄りをケアする人が一時的に休息する間の支援（レスパイトケア）や、終末期のがん患者の在宅支援が主な柱となる。医療行為が必要なケアのほか、長時間の外出や旅行の付き添いなど公的保険で賄えないサービスにも対応する。1時間当たり1000～1600円程度を活動協力金として受け取る。

# 社福法人の公益活動

その6

## ◆法人情報◆

本部所在地  
村上市上の山2番17号  
いわくすの里2階  
電話 0254-50-2222  
FAX 0254-50-2223  
<http://www.murakamiwafune.or.jp/>

## 老人会に職員派遣し介護教室開催

### 社会福祉法人村上岩船福祉会 特別養護老人ホーム羽衣園

社会福祉法人村上岩船福祉会特別養護老人ホーム羽衣園は、平成9年に開設した施設です。デイサービスセンターや居宅介護支援事業所等を併設しています。羽衣園が立地する村上市朝日地区（旧朝日村）は、山に囲まれた中山間地域であり、過疎化・高齢化が進み、

高齢者の単身世帯、高齢者のみの世帯も増加しています。公共交通機関や食料品・日用品の買い物施設も十分ではないため、身体は健康であっても物理的に生活が立ち行かなくなってしまうという地域問題もあります。そういった、自宅で暮らすことが難しくなった方の

受け皿として、羽衣園では、

村上市からの委託により高齢者生活福祉センターふれあい羽衣の管理も行っています。ふれあい羽衣は、制度上は軽費老人ホームに該当し、市内在住の1人暮らしまたは夫婦のみの世帯であって、独立して生活することに不安のある方を対象に低額で住居の提供を行う施設です。個室9室に夫婦部屋3室の定員15人となっています。各居室にはトイレや調理器具を備え、原則的には日常の生活行為が自立している方を対象としています。実態としては生活上の介護を要する方も入

居されています。

日中は生活支援員が1人配置されています。簡単な身の回りのお手伝いをしつつ地域の老人会やイベント等への送迎なども行い、入居後も地域とのつながりを保ち、地域社会の一員としての生活が営めるように支援しています。夜間は特養の宿直者がふれあい羽衣で仮眠をとり、また緊急時には特養の看護師や介護職員が応援に駆け付けるなど、協力して入居者の支援や対応にあたっています。それでも、入居者の介護・医療ニーズは年々多様化しており、通院や買い物、服薬、



高齢者生活福祉センターふれあい羽衣

排泄などの日常的な介護問題から、入院時の対応や退居後の行き先など課題は多く、地域貢献という観点からもより柔軟な対応が求められていると感じています。

また、いわゆる地域公益活動については、法人で平成27年9月に検討委員会を立ち上げて協議を行っているところであり、将来の福祉人材の育成や地域の福祉力向上のために、法人としてできることはないか意見を出し合っています。羽衣園独自でも老人会へ職員を派遣して介護教室を行うなど、人的・物的資源や介護のノウハウなど羽衣園が持っている機能を地域に還元するための取り組みを進めています。

今後も地域の介護拠点として、地域住民にとって身近で頼れる存在であることを目指し、活動していきたいと考えます。

（羽衣園主任介護支援専門員

高橋 英男）

（連載おわり）

平成28年度 羽衣園出張介護者教室

・期日 平成28年4月～平成29年3月  
・場所 集落センター 地域の基の関等  
・申込み 電話で申込み  
羽衣園 電話0254-72-0055  
・料用別 無料  
・その他 土曜日、日曜日でも可能ですが、事前連絡が必要です。

| 内容                           | 担当者              |
|------------------------------|------------------|
| 1 介護保険にかかわる話                 | 管理者              |
| 2 介護保険のサービス種類                | 生活相談員<br>介護支援専門員 |
| 3 認知症について<br>予防と進行を遅らせるために   | 介護士              |
| 4 介護技術について<br>食事介助・排泄介助・入浴介助 | 介護士              |
| 5 高齢者の栄養管理について               | 管理栄養士            |
| 6 在宅看護全般について                 | 看護師              |
| 7 福祉用具 その他                   | 介護支援専門員          |

出張介護者教室のメニュー





昨年引き続き、新潟発のアイドル Negicco に協力をいただき、県オリジナルポスターを作成しました。

Negicco と一緒に募金運動を元気に楽しく盛り上げます。

ポスターモデル今年も  
Negicco(ねぎっこ)

今年で70回目を迎えた共同募金運動が10月1日からスタートしました。今年の目標額は4億7334万5千円とし、県内各地で募金運動を実施します。皆様のご協力よろしくお願いします。

赤い羽根共同募金運動  
スタート

### 〇ふれあい配食サービス事業 魚沼市社会福祉協議会

ひとり暮らしの高齢者、おおむね70歳以上の高齢者のみの世帯、日中ひとりで見守りが必要な高齢者及び障がい者に対し、ボランティアによる配食サービスを実施することにより、安否確認と閉じこもり防止を図っています。



### 〇障がい者サポーター講座 加茂市社会福祉協議会

誰もが住み慣れた地域で安心して住み続けるために障がいを学び、お互いに支えあう地域力の向上を図っています。地域にはいろんな方が住んでいることから障がいを理解する為に、7講座を学びます。



### 〇児童福祉事業 刈羽村社会福祉協議会

子どもの頃から福祉に対する興味関心を持ってもらうため、小中学校の福祉教育への協力を行っています。また、刈羽小学校児童と高齢者との年賀状交換を通じたふれあい活動を行っています。



### 〇雪下ろし助成事業 関川村社会福祉協議会

雪深い地域ならではの支えあい。自分で雪下ろしをすることができない高齢者や障がい者などへ除雪援助を行っています。



共同募金は県内の様々な福祉事業に使われています。

いっばいの愛をありがとう！



交付式では遊技業組合佐藤孔一理事長が「今後も組合が果たす役割について考え地域社会への貢献活動を行って行きたい。」と挨拶されました。

当会小田会長から、今回車両の贈呈を受けた障害者支援施設大峰寮(新発田市)と緑風園(新発田市)へ助成の目録を手渡しました。



7月29日、県遊技業協同組合寄付金障害者支援施設に移送用車両を助成した。

県遊技業協同組合寄付金  
障害者支援施設に  
移送用車両を助成

# 福祉の現場

関 要悟さん

(魚沼市主任児童委員協議会会長)

No.15

「『じいちゃん先生』と呼ばれるんですよ」。温和な笑顔がさらに緩む。日常的に訪れる保育園や小中学校の子どもたちからの信頼と人気ぶりが表されている。入学式や卒業式はもちろん、体育祭や学習発表会、花火大会などに招かれ参加する。子どもの福祉に取り組む「主任児童委員」を引き受けたのは、魚沼市内の小中学校長で定年退職してから1年後。12年間、子どもたちの健全な成長を温かく見守り続けてきた。「楽しかった」と振り返る。

担当は小出地区。9人の委員が魚沼市全域をカバーする。現代は、いじめや児童虐待、不登校、非行、そして児童の貧困といった深刻で厳しい問題が横たわる。訪れた学校で、「楽しく健全にやっているか」と子どもたちの様子や気になるところを聞き情報交換に努める。見守っ



## 子どもたちの成長見守る、じいちゃん先生

退職後は魚沼の風景を油彩で描き続けている。併せて、日本美術史の研究にも余念がなく、学芸員の資格も得た。ますます活動の幅を広げている。

「できた子どもが、中学校卒業後の進路によっては動向が分からなくなることもある、と言う。いつまでも気に掛けている。魚沼市主任児童委員協議会では、平成21年から手作りの会報を発行している。今年3月号では、会長として「どんなつぶやきにも耳を傾け、そして常に寄り添い、みんなで『子どもたちにとってやさしい町』を目指して力を合わせていきたいものです」と訴える。学校や子育て支援センター、医療機関、警察、行政窓口などによる子ども見守りネットワークの大切さを強調、これらをつなぐパイプの役割を担う。「地味なことの良いんだと思う。子どもが光れば町が光る」。

## 福祉の店 パレット

社会福祉法人更生慈仁会

慈仁工房

(就労継続支援B型、  
就労移行支援事業所)  
(新潟市)

### 【施設紹介】

慈仁工房は、働く意志・能力があらながらも、障害があるために就労が困難な人たちに対して社会的自立と就労の促進を図ることを目的とした事業所で、現在45名の方が通所中です。受託、縫製、弁当製造、農耕、販売事業などを行っています。

### 【商品説明】 (金額はすべて税別)

#### ☆カレー弁当

野菜やお肉がたくさん入った具たくさんカレーです。どこかなつかしい家庭的な味のカレーです。皆さんが食べてホッとする味を目指しています。

|            |      |
|------------|------|
| カレーライス     | 380円 |
| カレーライス大盛   | 440円 |
| 玉子カレー      | 440円 |
| 玉子カレー大盛    | 500円 |
| ハンバーグカレー   | 560円 |
| ハンバーグカレー大盛 | 620円 |
| コールスローサラダ  | 110円 |

#### 慈仁工房のカレー弁当



この度、  
ハンバーグカレーが  
登場しました。  
よろしく願います！

★家庭の味を、お届けします♪

#### ☆ままごとごちそうセット・紙風船

小さな子供が触っても安全な布製のままごとごちそうセットや、紙風船、吹き戻しなどカワイイ系、ほのぼの系も人気があります。

|       |              |       |
|-------|--------------|-------|
| 写真 右上 | 三方巻き取りセット    | 356円  |
| 左上    | 紙風船動物入 3枚セット | 248円  |
| 正面    | ままごとごちそうセット  | 1026円 |



問い合わせ

福祉の店パレット新潟店  
県社協 地域福祉課

☎025-281-5513

☎025-281-5521

この機関誌は、  
赤い羽根共同募金の  
助成を受け発行しています。



発行所／社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会  
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ  
☎ 025-281-5520  
発行人／関谷 政友  
定 価／5円 (会員の購読料は会費に含む)

福祉にいがた  
平成28年10月1日発行 (毎月1日発行)  
昭和27年9月16日 第三種郵便物認可  
印刷／島津印刷㈱